

(別添書類)

履 歴 書 (記 入 例)

文化財建造物修理主任技術者講習会(上級コース)
令和4年9月1日現在

ふりがな ○○○ ○○○
氏 名 ○○ ○○
生年月日 昭和○○年○○月○○日生 性別 男
現住所 ○○○○○○○○○○
電話番号 ○○○-○○○-○○○○○ その他連絡先 ○○○-○○○○-○○○○(携帯電話)
○○@○○○○(メールアドレス)
勤務先
住所 ○○○○○○○○○○
電話番号 ○○○-○○○-○○○○○(内線○○○)

学歴	年 月 日	[高等学校卒業から最終学歴まで 欄は適宜増減してください]
	平成○年○月○日	○○県立○○高等学校卒業
平成○年○月○日	○○大学○○学部卒業	
平成○年○月○日	○○大学大学院○○専攻○○課程修了	

職歴	年 月 日	[組織・機関, 配属先, 職名 欄は適宜増減してください]
	平成○年○月○日	○○に○○として採用
平成○年○月○日	○○保存修理事務所 主任補佐	
平成○年○月○日	○○に昇任	
		現在に至る

研修歴	年 月 日	[研修名(主催), 日数 欄は適宜増減してください]
	平成○年○月○日	○○研修(○○主催) ○日間

資格等	年 月 日	[資格名称(所管官庁等) 欄は適宜増減してください]
	平成○年○月○日	○○建築士(国土交通省)
平成○年○月○日	○○作業主任者(厚生労働省)	

(記入要領)

本履歴書は講習会の選考に使用するため、提出を求めるものです。本講習会の資料以外には使用いたしません。

※令和4年9月1日現在で記入すること。

※本調査は、本人が記入すること(すべてパソコン入力可)。

1. 氏名等 氏名, ふりがな, 生年月日, 性別を記入してください。
2. 現住所 現住所, 連絡先を記入してください。その他連絡先には携帯電話、メールアドレス等の連絡先を記入してください。
3. 勤務先 現在通勤している勤務先を記入してください。
4. 学歴 卒業した高等学校名等を記入してください。大学院修了者は、大学院名の他に卒業した大学名・学部名も記入してください。
5. 職歴 現在の職務に至るまでの職歴を正確に記入してください。
6. 研修歴 参加経験のある文化財建造物関連の研修を記入してください。
7. 資格等 職務に関係のある資格を記入してください。

(別添書類)

令和4年度文化財建造物主任技術者講習会(上級コース)

様式3「文化財建造物に係る業務歴」の記入要領

1. 氏名等

氏名, ふりがな, 生年月日を記入してください。

2. 文化財建造物に係る業務に従事した期間

業務歴の審査を希望する期間を記してください。期間は年月日(H〇〇. 〇〇. 〇〇の形式)で記し, 経験年数を「年, 箇月」で記入してください。

経験月数は, 自動計算されます。

3. 業務歴の一覧表

文化財建造物に係る全ての業務を記してください。欄が不足する場合は適宜追加してください。

- ①**業務名** : 業務名称が不定の場合は, 業務内容がわかるよう具体的に記してください。
- ②**文化財の種別** : 業務従事時の文化財建造物の種別を記してください。(例 : 国宝, 重要文化財, 都道府県指定有形文化財, 市町村指定有形文化財, 史跡・名勝, 登録有形文化財など)
- ③**文化財の所在地** : 都道府県名, 市町村名を記してください。
- ④**文化財の構造・形式** : 文化財の構造, 規模等の概要がわかるように記してください。
- ⑤**保存修理工事の内容** : 保存修理工事の内容を記してください(例 : 解体修理, 半解体修理, 屋根葺替(屋根葺材), 部分修理, 塗装修理など)。複数棟にわたる場合は棟毎に記してください。
- ⑥**業務内容** : 当該業務における業務の内容を記してください(例 : 修理設計, 設計監理, 修理監理, 文化財調査, 〇〇計画策定, 耐震診断など)。文化財保護行政実務(技術指導など)に従事した期間についても記してください。
- ⑦**業務における立場** : 当該業務において果たした役割を記すこと(例 : 主任技術者(文化庁承認), 工事主任, 工事主任補佐, 補助員など)。文化財保護行政実務においては担当係などを記してください。
- ⑧**現場常駐** : 保存修理工事の現場に, 専ら常駐して携わった業務に「〇」を入力してください。
- ⑨**業務期間** : 当該業務の開始と終了の年月を記し, 期間の長さを月数で記してください。
- ⑩**期間における業務専念率** : 同期間に併行して複数の業務を行った場合は, 当該業務に専念した割合を百分率で示し, 専念月数を計算してください。
- ⑪**専念月数** : 集計欄の「月数(専念)」, 「年数(専念)」とともに自動計算されます。

(別添書類)

文化財建造物に係る業務歴(記入例)

文化財建造物修理主任技術者講習会(上級コース)

ふりがな	〇〇〇 〇〇〇
1. 氏名	〇〇 〇〇
生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日生

令和4年9月1日現在

2. 文化財建造物に係る業務に従事した期間: 自 H20.4.1 至 R4.3.31 経験年数 14年 0箇月 経験月数 168

3. 業務歴 [欄が不足する場合は適宜挿入してください]

通番	① 業務名	② 文化財の種類別	③ 文化財の所在地	④ 文化財の構造・形式	⑤ 保存修理工事の内容	⑥ 業務内容	⑦ 業務における立場	⑧ 現場常駐	⑨業務期間			⑩ 期間における業務専念率	⑪ 専念月数
									開始(年.月)	終了(年.月)	月数		
1	(例)重要文化財〇〇神社本殿保存修理	重要文化財	〇〇県 〇〇〇市	木造 一間社 流造	解体修理	設計監理	主任補佐	○	H20.4	H20.12	9	100	9
2													0
3													0
4													0
5													0
6													0
7													0
8													0
9													0
10													0
11													0
12													0
												専念月数合計	9.0
												専念年数合計	0.8